学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
普・家庭	家庭基礎	2	1	なし

使用教科書	副読本等
東京書籍「家庭基礎　自立・共生・創造」（家基311）	東京書籍「家庭基礎　学習ノート」

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
費用：実習費として約3000円		○				○		○

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

◆家庭生活に興味をもち、自立を目標に前向きに取り組もう。
・生活の様々な現象や課題を講義や演習などを通して考え、理解を深め知識を身につけます。
　クラスのみんなの意見や考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えにつなげましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、理解に基づいた技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活を目指します。

2．学習の到達目標

人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身についている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	・学習ノート ・授業プリント ・観察など	・学習ノート ・授業プリント ・観察など	・学習ノート ・授業プリント ・実習レポート ・実習作品 ・観察など	・小テスト ・定期考査など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	○家庭基礎について ○衣生活をつくる	オリエンテーション 1．被服の機能と着装 2．被服の管理と計画 3．これからの衣生活 4．被服実習	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：健康で快適な衣生活について、課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身につけている。 d：被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 授業プリント 実習レポート 製作物 定期考査
5月 下旬 ～ 7月	○住生活をつくる	1．住生活について考える 2．住生活の計画と選択 3．これからの住生活 《7月考査》	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a：安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身につけている。 d：住居の機能、住環境などについて理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 授業プリント 実習レポート 定期考査
8月 下旬 ～ 10月 上旬	○食生活をつくる	1．食生活の課題について考える 2．食事と栄養・健康 3．食生活の安全と衛生 4．調理の基礎 5．これからの食生活 《１０月考査》	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○	a：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生などの技術を日常食の調理実習を通して身につけている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生と環境などについて実習を中心とした学習を通して理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 授業プリント 実習レポート 製作物 定期考査

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
10月 中旬 ～ 12月	○子どもとともに育つ	1．子どもの育つ力を知る 2．親として共に育つ 3．子どもから学ぶ 4．これからの保育環境 5．知育玩具の製作 《１２月考査》	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。 c：子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身につけている。 d：子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	授業観察 授業プリント 実習レポート 製作物 定期考査
1月 ～ 2月	○自分らしい人生をつくる	1．生涯発達の視点 2．青年期の課題 3．目標を持って生きる 4．人生をつくる 5．家族・家庭を見つめる 6．これからの家庭生活と社会 《2月考査》	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：青年期の生き方、家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：自分を見つめ、生涯発達の視点から家族・家庭と社会のかかわりについての課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。 c：事例研究などを通して、青年期の生き方や家族・家庭のあり方について検討する技術を身につけている。 d：青年期の課題や家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身につけている。	授業観察 授業プリント 実習レポート 定期考査